

エリザベト音楽大学キャンパス・ミニストリー主催

# ANNE FRANK パネル展

『アンネの日記』で知られるアンネ・フランクについてのパネル展および講演会を下記の日程で開催します。

皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

## 【パネル展】

日時：12月1日（金）  
～12月13日（水）  
9：00～17：00  
場所：エリザベト音楽大学  
エントランスホール

## 【講演会】

日時：12月2日（土）  
16：30～17：30  
講師：ステファン・フェルファーカ氏  
（アンネ・フランク財団 東アジア担当）  
場所：エリザベト音楽大学 506 教室



☆講演は簡単な英語を用いて行われます。

※いずれも入場無料・申込み不要

問い合わせ先

エリザベト音楽大学 キャンパス・ミニストリー

住所：広島県広島市中区熾町 4-15

TEL：082-221-0918（平日9時-17時）

## ○アンネ・フランク○

1929年6月12日、ドイツのフランクフルト・アム・マインで生まれる。

フランク一家はユダヤ人であったため、アドルフ・ヒトラーによる反ユダヤ主義の影響を受け、1933年にオランダに移住した。

第二次世界大戦勃発後、ユダヤ人迫害の流れを受け、フランク一家は父オットーの事務所の裏の隠れ家へと移り、昼間は息をひそめて生活を送った。しかし1944年8月4日、フランク一家を含む隠れ家のユダヤ人8名は、何者かに密告され、ヴェステルボルク移送収容所に送られることとなった。男女別で移送されたため、アンネが父を見たのはこれが最後だった。10月の終わりに、アンネと姉マルゴはドイツのベルゲン＝ベルゼン強制収容所に移送された。この収容所は収容者であられ、食糧状況も衛生状態も悲惨なものであったため、二人はチフスに罹患し、アンネはマルゴに続くように1945年3月に亡くなった。

アンネが約3年間記していた日記は、終戦後唯一生き残った父オットーの手にわたり、世界中で出版されて今もベストセラーとしてたくさんの人に読まれている。

## ○ステファン・フェルファーカ氏○



1947年11月23日ベルギー生まれ。

幼少期に『アンネの日記』を読み、いつかアンネの隠れ家を訪れてみたいと願っていたステファン氏は、ベルギーのルーヴェン・カトリック大学で、若きイエズス会士たちと共に学んだのち、1974年にオランダのアムステルダムへと移った。同年にアンネ・フランク財団は教育的アプローチを開発するために動き始め、彼は学校のための最初のアンネ・フランク新聞の作成に協力した。その後も長年にわたり、アンネ・フランクに関する教育プログラムに貢献している。

現在は若い世代を対象に『アンネの日記』を取り入れた英語教育を推進するほか、平和活動をライフワークとして世界中を行脚する日々を送っている。また2009年以降、日本では100を超える会場でアンネ・フランクのパネル展を開催している。

バチカンの最高栄誉賞といわれる Pro Ecclesia et Pontifice を受賞。

### <会場へのアクセス>

○JR 広島駅南口から

徒歩約12分

○市内電車またはバス

「銀山町（かなやまちょう）」

下車 徒歩約4分

※駐車場はございません。

公共交通機関または

近隣のコインパーキングを

ご利用ください。

